

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	土地改良費	282

部局名	都市整備部
課名	整備課

I：事業概要

施策事業名	土地改良
事業目的	土地改良施設の改修を行うことにより、耕作に必要不可欠な水を確保し、農地を洪水や湛水から守る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作に必要不可欠な水を確保し、農地を洪水や湛水から守るため、土地改良施設の改修を実施する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地改良（排水）事務                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良排水施設及びため池の管理事務</li> </ul> </li> <li>○土地改良施設改修                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急農地防災事業 成沢川地区</li> <li>・県単独土地改良事業 薬師川地区、善師野川地区</li> <li>・愛知県が行う土地改良事業の一部負担金   <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震等調査が行われたため池のうち、対策が必要と判定された池の改修工事</li> <li>平谷第一池地区、北洞南池地区</li> <li>豪雨に対する越水被害の対策</li> <li>入鹿上用水地区、丹羽排水地区</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地改良施設改修                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良施設改良工事請負費 37,203,000円</li> <li>・県営土地改良事業負担金 30,895,689円</li> <li>・入鹿用水土地改良区負担金 1,751,680円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	成沢川地区及び薬師川地区外において、土地改良施設の改修により機能確保を図った。平谷第一池地区外において、耐震対策が必要と判定されたため池の耐震補強工事等により耐震性を確保した。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

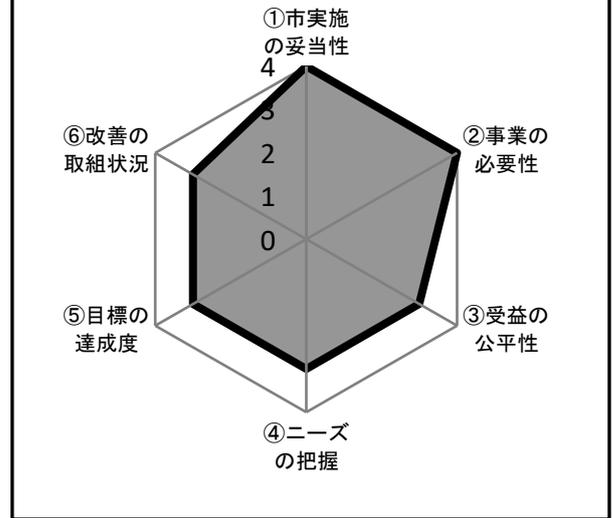
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
土地改良（排水）事務	599	0	599	100%	3	3	3
土地改良施設改修	70,326	40,329	29,997	43%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	70,925	40,329	30,596	43%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		82,293	70,925	135,730
財源内訳	国県支出金	38,006	21,429	56,418
	地方債	12,700	18,900	59,500
	その他	0	0	0
	一般財源	31,587	30,596	19,812
一般財源の割合		38%	43%	15%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	市が管理する法定外公共用物である。
②事業の必要性	4	土地改良施設を適正に管理することによって、耕作地の水の確保はもとより、洪水抑制機能等の多面的効果が発揮され、市民の安心安全な生活に寄与している。
③受益の公平性	3	用排水路やため池は、農業用のみならず地域排水や洪水調整機能を有しており、その効果は広範囲に及ぶ。
④ニーズの把握	3	受益者が申請人となっており、同意書をもって事業採択している。
⑤目標の達成度	3	成沢川地区において、施工ヤードに必要な土地の地権者との調整に時間を要し、工事を完了することができなかった。
⑥改善の取組状況	3	ため池の規模、被害想定のおおきさ等により優先順位をつけて事業の平準化を図っている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	国の補正予算を活用するため、事業の前倒しに伴い、年度計画の見直しを行った。
令和7年度に見直しを実施している事項	優先順位により、計画的な整備を進めていく。
今後見直しを検討する事項	県と事業調整を行い、計画的な整備を推進していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
土地改良施設の老朽化。	事業を適切に実施するため、十分な現地調査により、計画的な整備を行う。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	2	道路新設改良費	306

部局名	都市整備部
課名	整備課

I：事業概要

施策事業名	道路新設改良
事業目的	地元要望等に基づき、道路の新設、改良等の整備を行うことにより、安心・安全で快適な生活環境の充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元要望等に沿った事業展開の実施</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○狭あい道路整備（市道羽黒西45号線）                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事 L=82m、用地買収</li> </ul> </li> <li>○市道羽黒前原台線整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁撤去工事</li> </ul> </li> <li>○多治見犬山線関連道路整備（市道神尾3号線）                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○狭あい道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量調査委託料 3,630,000円</li> <li>・物件調査委託料 2,860,000円</li> <li>・道路改良工事請負費 5,370,200円</li> <li>・道路改良工事用地購入費 6,967,907円</li> <li>・物件移転補償金 5,913,290円</li> </ul> </li> <li>○市道羽黒前原台線整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁撤去工事請負費 57,741,200円</li> </ul> </li> <li>○多治見犬山線関連道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事用地購入費 548,520円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	市道羽黒西45号線（狭あい道路）及び市道神尾3号線（多治見犬山線関連）では用地買収を進め、市道羽黒前原台線（星和橋）では橋梁撤去工事を実施し、市道羽黒西45号線の道路改良工事により、地域の生活環境の改善を進めた。

II：個別事業内訳

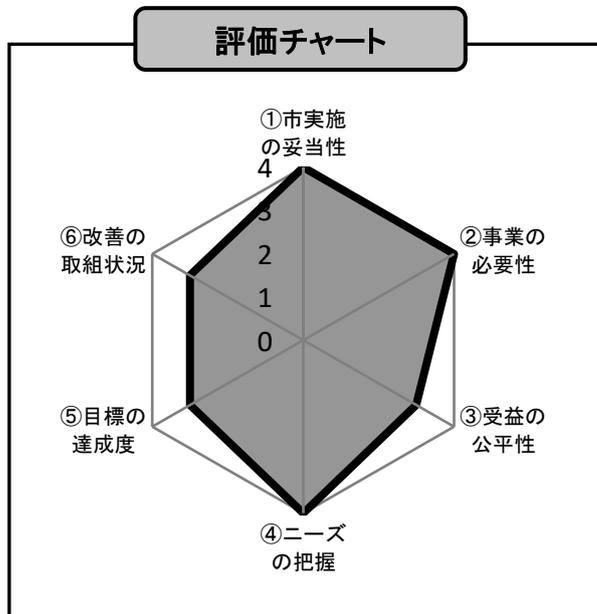
（単位：千円）

（見直し・点検進捗評価は4段階）

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
狭あい道路整備	27,421	23,474	3,947	14%	3	3	3
市道羽黒前原台線整備	57,742	14,021	43,721	76%	3	3	3
多治見犬山線関連道路整備	630	625	5	1%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	85,793	38,120	47,673	56%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		76,710	85,793	90,044
財源内訳	国県支出金	32,555	23,376	39,407
	地方債	16,400	2,300	21,300
	その他	5,414	12,444	0
	一般財源	22,341	47,673	29,337
一般財源の割合		29%	56%	33%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	地元要望等に基づき、生活環境の改善や交通安全の確保を行うための道路整備であり、市が実施する必要がある。
②事業の必要性	4	生活環境の改善、安全性の確保に加え、災害時などの緊急車両等の通行の確保など、地元からの要望に応える事業として道路整備を推進していくことが必要である。
③受益の公平性	3	地元の生活道路として、地域住民の要望に基づく事業であるが、不特定多数の住民が利用するため、公平性は高い。
④ニーズの把握	4	土木常設員を通じた地元の要望等に基づいて、事業を推進している。
⑤目標の達成度	3	市道羽黒西45号線において、地権者との交渉に時間を要し、一部用地買収ができなかった。
⑥改善の取組状況	3	地元からの要望を精査し、市民の生活環境の改善に資する事業効果の高い路線を選定し、コストの縮減に努めている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	地元要望を精査し、事業効果の高い工事を実施した。
令和7年度に見直しを実施している事項	地元との調整を緊密に図り、より事業効果の高い路線の道路改良を推進していく。
今後見直しを検討する事項	早期に事業調整を行い、より事業性や効果が高い路線の絞り込みを行い、計画的に道路改良を推進していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
地元からの要望が多様化しており、地権者や隣接者の意識が変化してきている中で、交渉等の難易度が上がっている。	事業の実施にあたり、地元や地権者等と事前に調整を図ることにより事業の絞り込みを行い、より事業効果の高い路線の整備を推進していく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	3	橋梁維持費	306

部局名	都市整備部
課名	整備課

I：事業概要

施策事業名	橋梁長寿命化
事業目的	道路法に基づき、5年に1回の法定点検を実施する。 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や重要度の観点から優先度が高い橋梁から修繕工事を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の安全性を確保する上で計画的かつ予防的な対応に転換するため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、それに基づき修繕工事を実施する</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁長寿命化点検業務委託（79橋）</li> <li>・橋梁長寿命化修繕設計委託（梅坪高架橋、伏屋4号橋）</li> <li>・橋梁長寿命化修繕工事（寺洞橋、青塚架樋橋、富ヶ丘橋、登校橋）</li> <li>・橋梁長寿命化点検名鉄負担金（富岡跨線橋）</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁長寿命化点検業務委託料 26,133,800円</li> <li>・資材価格特別調査業務委託料 374,000円</li> <li>・橋梁長寿命化修繕設計委託料 8,010,200円</li> <li>・橋梁長寿命化工事請負費 78,934,900円</li> <li>・橋梁長寿命化点検名鉄負担金 1,647,100円</li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	富岡跨線橋外78橋の点検、梅坪高架橋と伏屋4号橋の修繕設計、及び寺洞橋、青塚架樋橋、富ヶ丘橋及び登校橋の修繕工事を実施した。

II：個別事業内訳

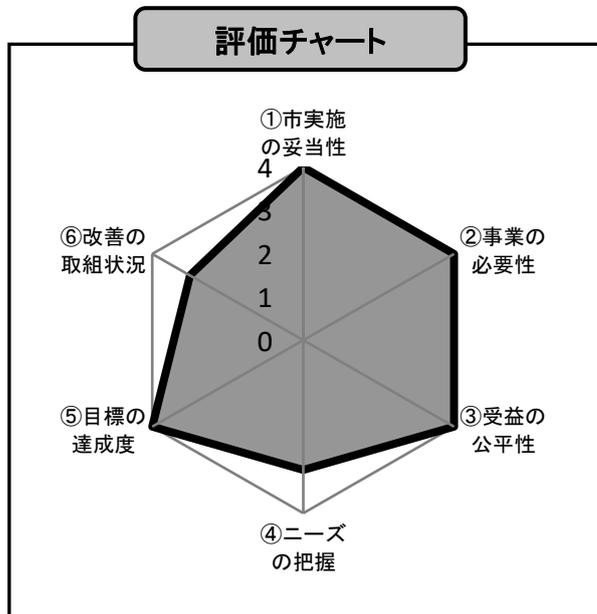
（単位：千円）

（見直し・点検進捗評価は4段階）

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
橋梁長寿命化	115,100	52,172	62,928	55%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	115,100	52,172	62,928	55%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		46,716	115,100	85,343
財源内訳	国県支出金	17,106	50,472	23,402
	地方債	7,600	1,700	24,100
	その他	0	0	0
	一般財源	22,010	62,928	37,841
一般財源の割合		47%	55%	44%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法に基づき、橋長2m以上の市道橋梁について5年に1度近接目視による定期点検を行わなければならない。
②事業の必要性	4	道路法に基づき、橋梁を点検する事業であり、市民の安全・安心を守るため、必要性が高い事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の対象橋梁について点検を行い、修繕を実施する事業であり、市民全般の安全・安心を守り、不特定多数の市民にサービスを提供する事業である。
④ニーズの把握	3	不特定多数の市民が利用する道路橋の予防保全をするものであり、義務付けられた点検と点検結果に基づく修繕を行うもので、道路基盤整備は大規模災害に備える取組みとして求められている。
⑤目標の達成度	4	年度当初の計画どおり事業を実施し、目標を達成した。
⑥改善の取組状況	3	道路法に基づく定期点検を計画どおり進めており、損傷度、重要度などの視点から適正に修繕を進めている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	国の補助要件に適合するため、橋梁長寿命化修繕計画の更新を行った。
令和7年度に見直しを実施している事項	令和6年度に橋梁定期点検要領が見直しされたため、新しい基準に基づいて橋梁点検を実施していく。
今後見直しを検討する事項	計画的かつ予防的視点で橋梁の長寿命化対策を推進するため、点検結果に基づき橋梁長寿命化修繕計画を更新していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
橋長2m以上の全ての橋梁について5年に1回の近接目視を実施していく必要がある。	令和6年度から橋梁点検が3巡目に入っており、適正に橋梁長寿命化を進めていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	3	1	河川総務費	308

部局名	都市整備部
課名	整備課

I : 事業概要

施策事業名	河川総務
事業目的	河川総務事務を適正に執行する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川に関する事務の執行</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川関係団体等の幹事会、総会への出席</li> <li>・河川関係団体等への負担金の支払い</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費 8,250円</li> <li>・消耗品費 29,779円</li> <li>・燃料費 848円</li> </ul> </li> <li>○河川関係団体負担金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県河川海岸協会負担金 19,000円</li> <li>・愛知県木曾川改修工事促進期成同盟会負担金 27,000円</li> <li>・新川・五条川改修促進期成同盟会負担金 50,000円</li> <li>・二市二町広域排水対策連絡協議会負担金 18,000円</li> <li>・尾張北東部治水対策協議会負担金 15,000円</li> <li>・新川流域水害対策協議会負担金 3,000円</li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	各協議会の幹事会や総会等に参加し、協議会として国、県に対して河川事業の陳情を行った。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

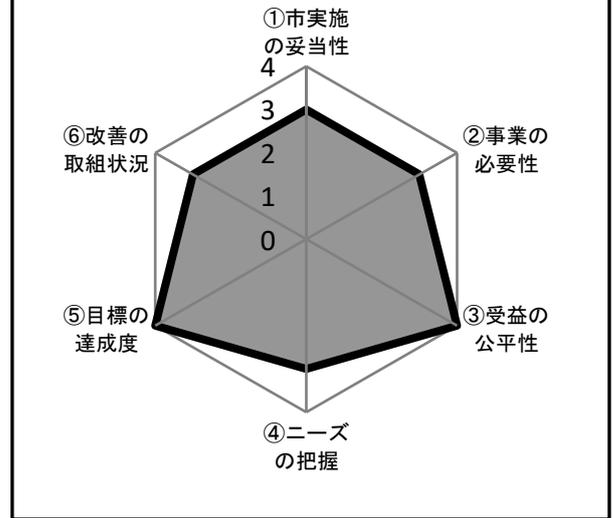
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
河川総務事務	171	0	171	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	171	0	171	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		184	171	222
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	184	171	222
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	治水対策及び河川環境の整備、改善事業の促進及び拡充を図るため、市が加盟団体と共に国、県への働きかけを行っていかなければならない。
②事業の必要性	3	治水対策及び河川環境の整備、改善事業の促進及び拡充を図るため、市が加盟団体と共に国、県に事業の必要性を継続的に説明していく必要がある。
③受益の公平性	4	治水対策及び河川環境の整備、改善事業の促進及び拡充を図ることにより、流域に住む多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	各地区からの道路冠水軽減等の土木要望により把握している。
⑤目標の達成度	4	年度当初の計画どおり事業を実施し、目標を達成した。
⑥改善の取組状況	3	繰越金の多い協議会等については、運営、事業等の精査、負担金の見直し等の提言を行った。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	繰越金の多い協議会等については、運営、事業等の精査、負担金の見直し等の提言を行った。
令和7年度に見直しを実施している事項	繰越金の多い協議会等については、運営、事業等の精査、負担金の見直し等を求めていく。
今後見直しを検討する事項	各協議会等の実情に合わせて運営、事業等の精査、負担金の見直し等を行うよう提案していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
各協議会等において見直しを行うにあたっては、関係市町村及び関係機関との調整が必要となる。	必要に応じて関係市町村及び関係機関と連携、調整を行いつつ、見直しを進めていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	3	2	河川改良維持費	308

部局名	都市整備部
課名	整備課

I : 事業概要

施策事業名	河川改良維持														
事業目的	愛知県が施工する砂防堰堤工事に伴い、流末水路を整備し、家屋への被害を抑える。														
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が施工する砂防事業に併せて、流末水路を整備する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○排水対策                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・大門洞 排水路改良工事 L=129m、用地買収</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・測量調査委託料</td> <td style="text-align: right;">5,300,900円</td> </tr> <tr> <td>・測量・囑託登記業務委託料</td> <td style="text-align: right;">259,633円</td> </tr> <tr> <td>・不動産鑑定委託料</td> <td style="text-align: right;">198,000円</td> </tr> <tr> <td>・実施設計委託料</td> <td style="text-align: right;">660,000円</td> </tr> <tr> <td>・河川排水路新設改良工事請負費（現年分）</td> <td style="text-align: right;">10,700,000円</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td style="text-align: right;">"（繰越明許費） 36,159,600円</td> </tr> <tr> <td>・土地購入費</td> <td style="text-align: right;">712,609円</td> </tr> </table> </li> </ul>	・測量調査委託料	5,300,900円	・測量・囑託登記業務委託料	259,633円	・不動産鑑定委託料	198,000円	・実施設計委託料	660,000円	・河川排水路新設改良工事請負費（現年分）	10,700,000円	・	"（繰越明許費） 36,159,600円	・土地購入費	712,609円
・測量調査委託料	5,300,900円														
・測量・囑託登記業務委託料	259,633円														
・不動産鑑定委託料	198,000円														
・実施設計委託料	660,000円														
・河川排水路新設改良工事請負費（現年分）	10,700,000円														
・	"（繰越明許費） 36,159,600円														
・土地購入費	712,609円														
事業の成果・効果	大門洞において、県の砂防事業に併せた流末水路の整備を進めた。														

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

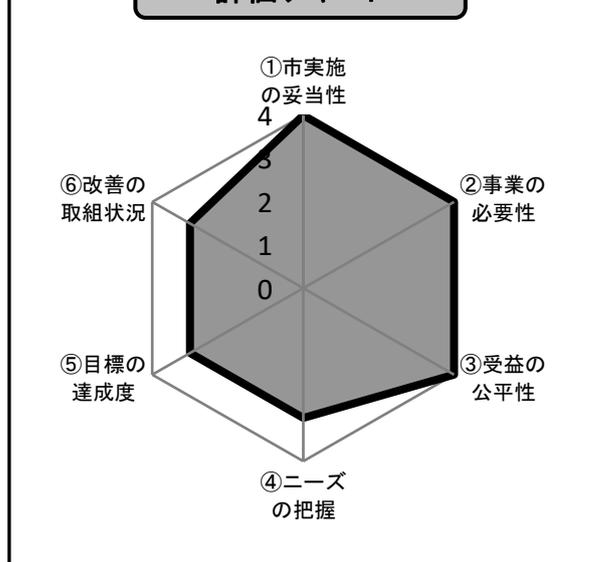
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
排水対策	53,991	40,500	13,491	25%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	53,991	40,500	13,491	25%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		17,698	53,991	11,445
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	40,500	9,000
	その他	0	0	0
	一般財源	17,698	13,491	2,445
一般財源の割合		100%	25%	21%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	砂防事業に関連する流末水路の整備であるため、市が実施する。
②事業の必要性	4	安全で安心して暮らせるまちづくりの観点から、浸水被害対策施設の整備は、事業実施が必須である。
③受益の公平性	4	豪雨時の道路冠水等の被害を軽減・防止する事業であり、広く市民生活の安心安全を確保する事業である。
④ニーズの把握	3	道路冠水軽減等の土木要望により把握している。
⑤目標の達成度	3	地権者交渉に時間を要し、排水路改良工事が完了できなかった。
⑥改善の取組状況	3	事業効果や緊急性により優先順位を検討し、新規路線を採択している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	排水路整備において、新たな事業用地の取得が必要となったため、整備計画の見直しを実施した。
令和7年度に見直しを実施している事項	県など関係機関と調整を図りながら適切に事業を実施する。
今後見直しを検討する事項	事業効果や緊急性により優先順位を検討し、新規路線を採択していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
近年、短時間に多量の雨が降る集中豪雨が頻発し、内水対策の重要性は高まっている。	事業効果や緊急性により優先順位を検討し、事業を推進する。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	2	都市建設総務費	312

部局名	都市整備部
課名	整備課

I：事業概要

施策事業名	都市建設総務
事業目的	都市建設総務事務を適正に執行する。 急傾斜地崩壊対策のために必要な措置を講じることで、市民の生命と財産を保護する。 公共施設の適正な環境管理を推進することで、市街地及び近郊に潤いと憩いを感じる快適な生活空間を保全・創出する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市建設に関する総務事務の執行</li> <li>・市内で愛知県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の経費の一部を受益者として負担</li> <li>・市内公共施設の適正な環境管理を推進するための団体補助の実施</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市建設総務事務                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち土木技術・電算連絡協議会負担金等の支出</li> </ul> </li> <li>○急傾斜地崩壊対策                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地崩壊対策事業費負担金の支出</li> </ul> </li> <li>○アメニティ協会                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野洞事務所の維持管理</li> <li>・アメニティ協会運営費補助金の支出</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市建設総務事務                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち土木技術・電算連絡協議会負担金 1,959,518円</li> </ul> </li> <li>○急傾斜地崩壊対策                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地崩壊対策事業負担金 9,019,899円</li> </ul> </li> <li>○アメニティ協会                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメニティ協会運営費補助金 3,785,262円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	県事業により、北大門地区及び西古券地区において急傾斜地崩壊対策事業を進めている。 (一社)パブリックワークス犬山市アメニティ協会により、市内公共施設の適正な環境管理を安定的かつ安価に実施できている。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

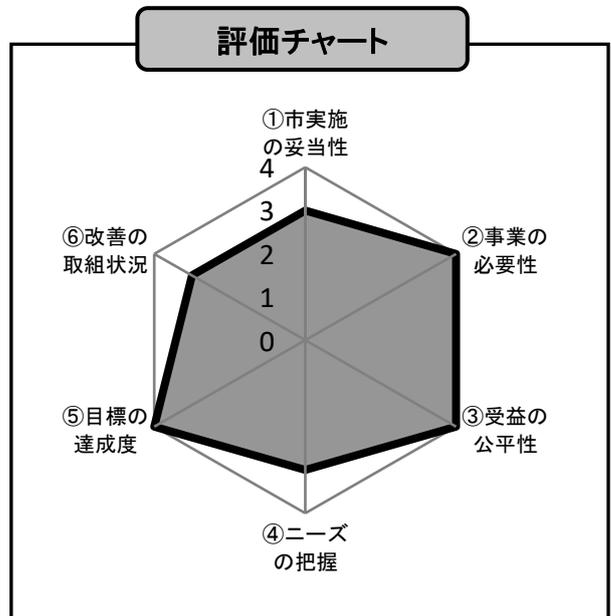
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
都市建設総務事務	3,054	443	2,611	85%	3	3	3
急傾斜地崩壊対策	9,020	4,300	4,720	52%	3	3	3
アメニティ協会	3,853	343	3,510	91%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	15,927	5,086	10,841	68%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		13,610	15,927	17,552
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	6,300	4,300	7,600
	その他	694	786	778
	一般財源	6,616	10,841	9,174
一般財源の割合		49%	68%	52%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	市民の生命と財産を守るため、県と連携して急傾斜地崩壊対策事業を推進する必要がある。
②事業の必要性	4	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命と財産を守る重要な事業であり、今後も継続していく必要がある。
③受益の公平性	4	急傾斜地崩壊対策事業は、がけ崩れで被害の発生の恐れがある地域の住民のみならず当該地域に財産を有する多くの人が対象となる。
④ニーズの把握	3	土砂災害防止法に基づく危険箇所等について、地元からの要望等を踏まえつつ対策工事を実施している。
⑤目標の達成度	4	年度当初の計画どおり事業を実施し、目標を達成した。
⑥改善の取組状況	3	ハード整備とともに、防災訓練の実施や土砂災害応急復旧対策費補助金制度の周知などを行うことにより、住民の危機意識向上に努めている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	県と緊密な連携を図り、急傾斜地崩壊対策事業の積極的な推進に努めた。
令和7年度に見直しを実施している事項	市民の生命と財産を守るために県との連携を強化し、新規の対策工事箇所の採択に向けて積極的に事業を展開できるように努める。
今後見直しを検討する事項	県との連携を強化し、対策工事のさらなる推進を図ると共に、啓発事業についてもより積極的に取り組みを進める。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
急傾斜地崩壊対策事業は、市民の生命と財産を守るための重要な事業だが、対策工事の規模が大きいため、対策が必要な箇所の整備に時間を要する。	県に対して、対策工事の実施に向けた要望を積極的に行っていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	4	街路事業費	318

部局名	都市整備部
課名	整備課

I：事業概要

施策事業名	街路事業
事業目的	市が所有する道路用地を適正に管理する。 市街地通過交通の流入軽減対策及び市街地間の連絡のため、環状線や地域交通軸などの幹線道路を整備する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市計画道路管理                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路用地の管理業務を執行</li> </ul> </li> <li>○楽田桃花台線道路整備 令和4年度～</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市計画道路管理                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路維持補修工事</li> </ul> </li> <li>○楽田桃花台線道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事 L=418m</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市計画道路管理                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理業務委託料 729,300円</li> <li>・都市計画道路維持補修工事請負費 294,800円</li> </ul> </li> <li>○楽田桃花台線道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事請負費 49,197,500円</li> <li>・道路改良工事用地購入費（繰越明許費） 79,007円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	道路用地の除草業務を行い、適正に管理している。 楽田桃花台線は、現在の道路用地幅における整備に向けて、拡幅工事を進めた。

II：個別事業内訳

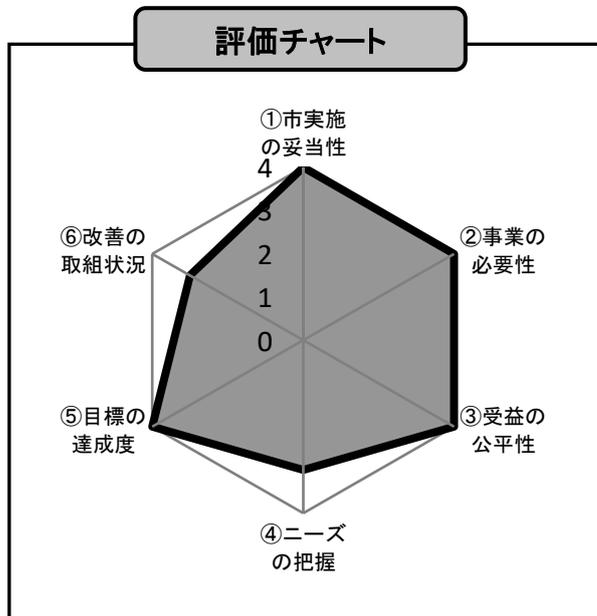
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
都市計画道路管理	1,024	2	1,022	100%	3	3	3
楽田桃花台線道路整備	49,277	44,600	4,677	9%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	50,301	44,602	5,699	11%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		62,577	50,301	54,215
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	44,600	35,200
	その他	97	2	2
	一般財源	62,480	5,699	19,013
一般財源の割合		100%	11%	35%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	都市計画道路整備事業として、市が主体となって実施する事業である。
②事業の必要性	4	交通渋滞の緩和及び地域の発展に資する重要事業であり、早急に整備推進することが必要な事業である。
③受益の公平性	4	幹線道路の整備は不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	市民意識調査において、市内の道路の安全性や快適性について調査を実施しており、道路整備の推進について、市民ニーズは高い。
⑤目標の達成度	4	年度当初の計画どおり事業を実施し、目標を達成した。
⑥改善の取組状況	3	効率的に道路整備が進められるように努めており、用地についても課題を精査し用地買収を進めている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	楽田桃花台線は、現在の道路用地幅による拡幅を進め、一部区間において供用開始した。
令和7年度に見直しを実施している事項	楽田桃花台線は、現在の道路用地幅による拡幅に向けて、整備促進を図っていく。
今後見直しを検討する事項	都市計画道路の未整備路線について、整備促進を図っていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
都市計画道路の未整備路線について、順次整備を進める必要がある。	継続して整備を推進していくため、関係機関と調整を図っていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	5	土地区画整理費	318

部局名	都市整備部
課名	整備課

I : 事業概要

施策事業名	地区道路整備
事業目的	道路等の都市基盤施設が未整備である地区について、道路整備を進め、良好な住環境を形成する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋爪・五郎丸地区計画に基づき道路整備を進める。</li> <li>・五郎丸地区において、排水対策及び道路整備に向けた用地買収を進める。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区計画道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事 市道五郎丸50号線外 L=192m</li> <li>市道橋爪72号線 L= 95m</li> <li>市道橋爪79号線 L= 80m</li> </ul> </li> <li>・用地買収 市道橋爪58号線、市道橋爪71号線外、市道橋爪79号線、市道橋爪176号線外</li> </ul> </li> <li>○五郎丸地区道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収 市道犬山地区79号線外</li> </ul> </li> </ul> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区計画道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事請負費 44,792,550円</li> <li>・道路改良工事用地購入費（現年分） 13,159,905円</li> <li>・ " "（繰越明許費） 4,527,564円</li> </ul> </li> <li>○五郎丸地区道路整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事用地購入費 14,240,859円</li> </ul> </li> </ul> </li>
事業の成果・効果	地区計画の決定を行った区域について道路計画に基づき用地買収を進め、市道五郎丸50号線外においては道路改良工事を実施した。五郎丸地区の市道犬山地区79号線外において、排水対策及び道路整備に向けた用地買収を進めた。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

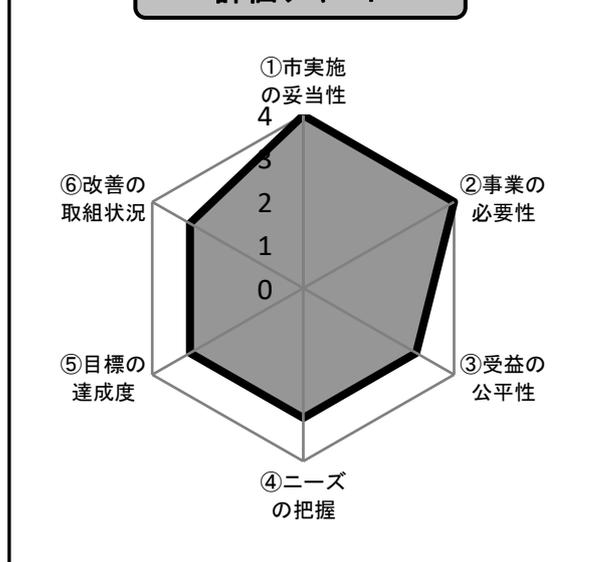
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
地区計画道路整備	70,886	40,695	30,191	43%	3	3	3
五郎丸地区道路整備	15,531	10,916	4,615	30%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	86,417	51,611	34,806	40%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		58,427	86,417	70,820
財源内訳	国県支出金	17,190	32,425	28,665
	地方債	10,500	15,900	28,200
	その他	3,235	3,286	0
	一般財源	27,502	34,806	13,955
一般財源の割合		47%	40%	20%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	地区計画決定に基づき、良好な住宅地の形成を進めるため、市が主体となって道路等の基盤整備を推進する必要がある。
②事業の必要性	4	都市基盤が未整備である地区計画決定をした地区の整備を進めることは、定住促進に資する重要な事業であり、推進する必要性は高い。
③受益の公平性	3	地区計画決定に基づき整備する事業であり、地域住民を対象としていることに加え、定住促進に資する事業として、多数の市民のサービス向上につながる事業である。
④ニーズの把握	3	市民意識調査においても、道路の安全性や快適性に対する市民ニーズは高く、市民からの問い合わせや要望等もあり、定住促進に資する事業として重要度の高い事業である。
⑤目標の達成度	3	地区計画道路整備事業において、地権者との協議に時間を要したため、一部の用地について買収ができなかった。
⑥改善の取組状況	3	住宅建築の促進につながる事業効果が高い路線を選定して路線整備を進めているが、今後更なる整備促進をしていくため、より積極的に買収を進める方針の検討を進めている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	地区計画決定をした地区について、事業効果が高い計画路線の整備を重点的に進めた。
令和7年度に見直しを実施している事項	地区計画区域内の狭あい道路については、社会資本整備総合交付金を活用しつつ、地権者交渉等をより効率的に推進することで事業の進捗を図る。
今後見直しを検討する事項	早期の整備促進に向け、道路後退箇所については計画段階から地権者協議を進め、より効率的に事業用地の買収を行うことで、整備促進につなげていく。より効果的、効率的に整備を行うため、路線ごとに整備計画を定めて事業を実施していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
橋爪・五郎丸地区計画区域内では民間開発等の部分的な道路整備によって地区計画道路線との不整合箇所も確認されており、事業者等への指導に支障が生じている。	現況を踏まえた地区計画道路線の見直しを行うとともに、事業効果の高い路線を選定し、整備計画を策定したうえで計画的な整備を進めていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	6	公園管理費	320

部局名	都市整備部
課名	整備課

I：事業概要

施策事業名	公園管理
事業目的	桜を活かした快適な空間を保全・創造するため、桜並木の適正な維持管理を行う。 地区計画区域内の公園整備を進め、良好な住環境を形成する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路及び河川敷の桜並木の適正な維持管理の実施</li> <li>・橋爪・五郎丸地区計画区域内の公園整備</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○沿道（堤防）桜並木管理                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の樹木診断結果に基づく支障枝及び枯枝の剪定、危険木の伐採、害虫駆除のための薬剤散布</li> </ul> </li> <li>○地区計画公園整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋爪・五郎丸子ども未来園跡地の公園整備に向けた測量</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○沿道（堤防）桜並木管理                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜並木剪定業務委託料 16,810,805円</li> <li>・樹木診断事業委託料 1,353,000円</li> </ul> </li> <li>○地区計画公園整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量調査委託料 3,808,200円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	市内の桜並木について、診断の結果に基づいて適正な剪定・管理を行い、観光資源や潤いある歩行者空間に資する景観の保全に努めた。 橋爪・五郎丸子ども未来園跡地の公園整備に向けた測量を実施した。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

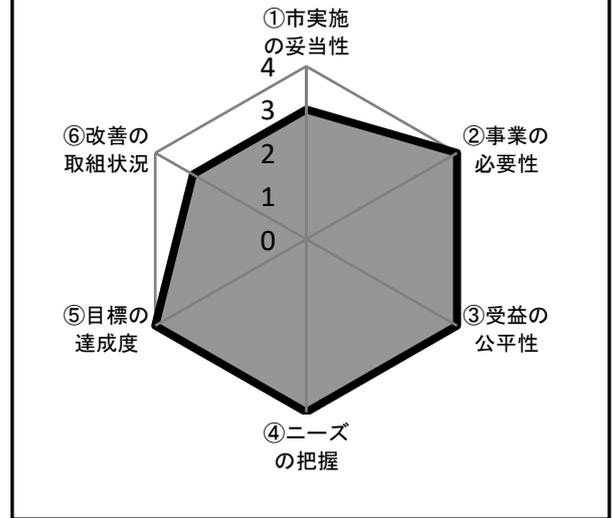
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
沿道（堤防）桜並木管理	18,557	0	18,557	100%	3	3	3
地区計画公園整備	3,808	0	3,808	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	22,365	0	22,365	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		19,889	22,365	34,613
財源内訳	国県支出金	0	0	1,800
	地方債	0	0	9,300
	その他	3,414	0	0
	一般財源	16,475	22,365	23,513
一般財源の割合		83%	100%	68%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	市内の桜並木については、景観上及び安全確保等の観点から、市が主体として管理を実施していくべきものである。
②事業の必要性	4	市の花である桜を適正に管理・保全していくことは、景観保全のみならず、安全・安心のまちづくりの観点からも重要な事業である。
③受益の公平性	4	桜並木は、市民だけでなく、観光客も含めた不特定多数の人の目を楽しませるものである。
④ニーズの把握	4	桜並木の適正な管理・保全に対する市民要望は強く、地元等からの要望も踏まえて取り組みを行っている。
⑤目標の達成度	4	年度当初の計画どおりに事業を実施し、目標を達成した。
⑥改善の取組状況	3	樹木診断結果に基づいた危険木の伐採等に加え、道路交通に対する安全確保のため、一定のルールに基づき桜樹木の伐採を行った。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	老木化した桜樹木のほか、道路交通に対する安全確保のため、一定のルールに基づき桜樹木の伐採を行った。
令和7年度に見直しを実施している事項	他市町村において街路樹等の倒木による事故が多発していることから、樹木診断を実施している事業者とも打合せを行ったうえで保全よりも事故防止を重要視した対応をすることとした。
今後見直しを検討する事項	樹木診断の結果に基づいて実施する桜並木の維持管理業務をより効率的かつ適切にできるよう内容の精査を引き続き行っていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
桜並木の老木化が進んでおり、安全確保のための管理コストがさらに増大していくことが想定される。	桜樹木診断に基づき、効率的な管理に努めるとともに、老木や交通安全上の支障となっている桜樹木については安全確保、事故予防の観点から伐採を進めていく。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
10	1	1	農業用施設災害復旧費	398

部局名	都市整備課
課名	整備課

I : 事業概要

施策事業名	農業用施設災害復旧
事業目的	農業用施設における災害発生時の対応
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・突発的な自然災害において被害が発生した農業用施設の機能回復</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧測量調査委託</li> <li>・災害復旧工事</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧関連委託料 2,145,000円</li> <li>・災害復旧事業工事請負費 12,827,100円</li> </ul> </li> </ul>
事業の 成果・効果	大雨による農業用施設災害復旧工事を実施した。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

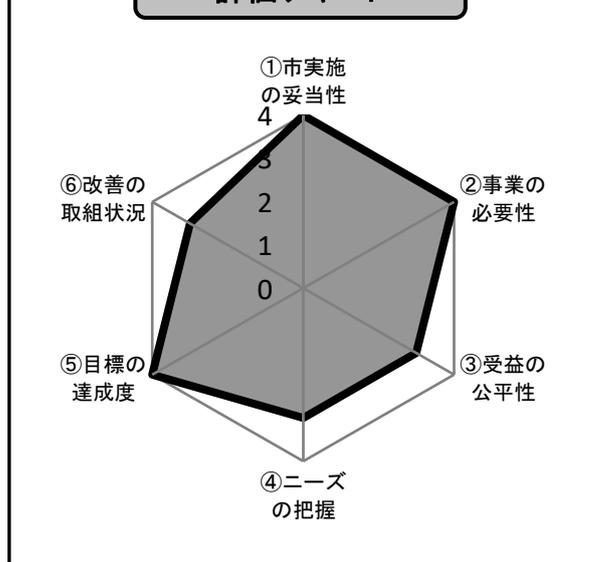
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源 の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
農業用施設災害復旧	14,973	0	14,973	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	14,973	0	14,973	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		5,555	14,973	12,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,555	14,973	12,000
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	災害時に早期に復旧し、農業用施設の機能回復を図る必要がある。
②事業の必要性	4	生活環境の改善、安全性の確保に加え、災害時の早期復旧など、地域からの要望に応える事業として推進していくことが必要である。
③受益の公平性	3	地域の生活環境を確保するため、地域住民の要望等を加味した事業であるが、不特定多数の住民への影響が大きいため、公共性は高い。
④ニーズの把握	3	パトロールや通報、土木常設員を通じた地域の情報などに基づいて、事業を推進している。
⑤目標の達成度	4	災害発生時の対応を適切に実施した。
⑥改善の取組状況	3	災害発生時に早期の現場把握及び対応に努めた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	災害発生時に早期対応が可能なように当初予算の確保に努めた。
令和7年度に見直しを実施している事項	災害復旧工事において、県補助金の採択に向けて調整を図った。
今後見直しを検討する事項	愛知県と早期に調整を図り、適切な対応を求めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
災害発生時のパトロールや通報、地元からの情報などにより災害箇所を把握するが、災害の状況によっては発見が遅れる場合もある。	災害発生時には地元と協力しながら災害箇所の確認及び対応を適切に進める。

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
10	2	2	河川災害復旧費	398

部局名	都市整備課
課名	整備課

I : 事業概要

施策事業名	河川災害復旧
事業目的	河川施設における災害発生時の対応
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・突発的な自然災害において被害が発生した河川施設の機能回復</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧測量調査委託</li> <li>・災害復旧工事</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧事業工事請負費 297,000円</li> </ul> </li> </ul>
事業の 成果・効果	大雨による河川災害復旧工事を実施した。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

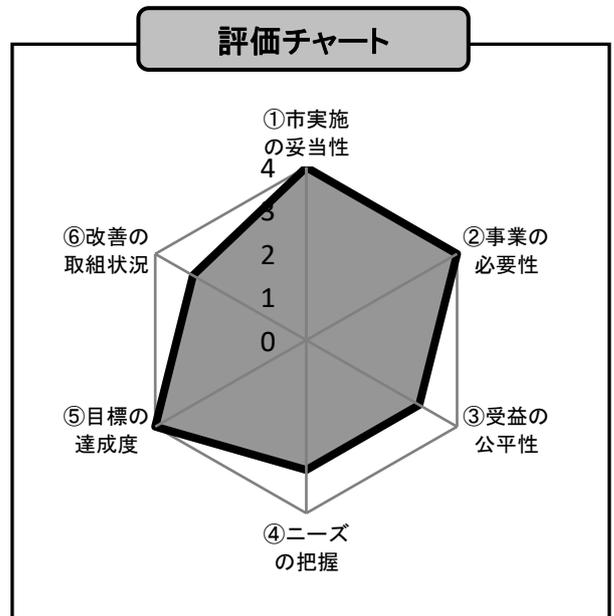
事業名	決算額	財源内訳		一般財源 の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
河川災害復旧	297	0	297	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	297	0	297	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		1,595	297	12,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,595	297	12,000
一般財源の割合		100%	100%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	河川管理者として、災害時に早期に復旧し、二次災害を防ぐ必要がある。
②事業の必要性	4	生活環境の改善、安全性の確保に加え、災害時の早期復旧など、地域からの要望に応える事業として推進していくことが必要である。
③受益の公平性	3	地域の生活環境を確保するため、地域住民の要望等を加味した事業であるが、不特定多数の住民への影響が大きいため、公共性は高い。
④ニーズの把握	3	パトロールや通報、土木常設員を通じた地域の情報などに基づいて、事業を推進している。
⑤目標の達成度	4	災害発生時の対応を適切に実施した。
⑥改善の取組状況	3	災害発生時に早期の現場把握及び対応に努めた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	災害発生時に早期対応が可能なように当初予算の確保に努めた。
令和7年度に見直しを実施している事項	引き続き、災害発生時の早期対応を目的として予算確保に努める。
今後見直しを検討する事項	県と早期に調整を図り、適切な対応を求めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
災害発生時のパトロールや通報、地元からの情報などにより災害箇所を把握するが、災害の状況によっては発見が遅れる場合もある。	災害発生時には地元と協力しながら災害箇所の確認及び対応を適切に進める。